Project to Support
Emerging Media Arts Creators
文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業

報道関係者各位｜PRESS RELEASE

令和８年１１月６日

令和８年度文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業

特別企画「PASSING BY」を新千歳空港にて開催！

この度、文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業では、若手クリエイターによる作品を紹介する特別企画「PASSING BY」を、新千歳空港国際線ターミナルビル到着コンコースで開催します。
本企画では、映像作品やメディアアート作品の記録映像などを再構成し、来日された方々が日本の若手クリエイターが作り出す光、色、形、データや現象を用いた多様な表現に出会う機会を作ります。
その偶然の出会いが、これから始まる旅のどこかに、ささやかな視覚の記憶として残ることを目指します。



展示概要

催事名：令和８年度文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業 特別企画「PASSING BY」
会　期：2026 年 11 月 19 日（木）– 11 月 24 日（火）
時　間：10:00 – 19:00
会　場：新千歳空港国際線ターミナルビル到着コンコース
※国際線到着コンコースでの展示のため、海外から日本へ到着された方のみご覧いただけるエリアでの展示となります。

出展者：大原 崇嘉／芹澤 碧／田村 育歩／堂園 翔矢／森田 崇文／山中 千尋

主　催：文化庁
事務局：CG-ARTS

詳細はこちら　日本語ページ　English Page

日本語ページ：https://creators.j-mediaarts.bunka.go.jp/2026_passing_by_jp
English Page：https://creators.j-mediaarts.bunka.go.jp/2026_passing_by_en

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

【本件に関するお問い合わせ】
文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業事務局［CG-ARTS 内］　担当：原
Email : creator-pr@cgarts.or.jp Tel : 03-3535-3501 Fax : 03-4500-2279 ※受付時間：平日 10:00～ 17:00

文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業

出展作品・作家一覧

Orb/Rot [for CTS]　｜　大原 崇嘉　OHARA Takayoshi



横幅 10 メートルを超える LED ディスプレイに、吊るされた石を回旋しながら撮影された映像が映し出される。通行者は歩きながらその映像を鑑賞する。そのとき、鑑賞者自身の移動と映像内の運動が交差し、見る位置とカメラの視点とのあいだに緩やかな一致とずれが生じる。そうした知覚の揺らぎのなかで、見るという意識のあり方そのものが揺らいでいく。

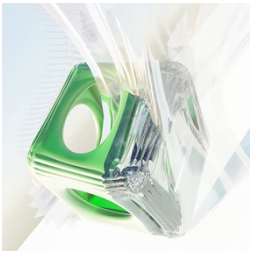


1986 年神奈川県生まれ。東京を拠点に活動するアーティスト、プログラマー。主に映像や照明を用いたインスタレーションを制作。色彩や奥行き認知、現象学的な身体論などを横断的に取り入れ、イメージ／モノ、平面／奥行き、視覚／身体のあいだに立ち上がる両義性を前景化する。現代のメディア技術を通じて、近代以降に形成されてきた視覚の枠組みを問い直している。アーティストコレクティブ「ヨフ」のメンバーとしても活動。

Is there そこにいる　｜　芹澤 碧　SERIZAWA Aoi



実際の水滴に動きを与え、日常で目にする水の形とは異なる水らしさを引き出す作品。水そのものの「らしさ」と、形や動きから想起される水ではない「らしさ」が混ざりあい、日常の水と非日常の水の姿のあいだに揺らぎを生み出す。水を通して、私たちの目がとらえる「物質らしさ」「リアリティ」とは何かを問いかける。



ビジュアルアーティスト／メディアアーティスト。映像メディアを軸に、動きや現象に焦点を当てた作品制作を行う。近年は現実らしさやバーチャルらしさといった切り口から、物質や現象に対するイメージの認知を問う作品を制作している。これまでビデオインスタレーションや VR、オーディオビジュアルパフォーマンスといった形態で作品を発表している。また VJ として音楽イベントにも携わる。

【本件に関するお問い合わせ】
文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業事務局［CG-ARTS 内］　担当：原
Email : creator-pr@cgarts.or.jp　Tel : 03-3535-3501　Fax : 03-4500-2279 ※受付時間：平日 10:00～17:00

文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業

出展作品・作家一覧

IN PASSING　｜　田村 育歩　TAMURA Ikuho

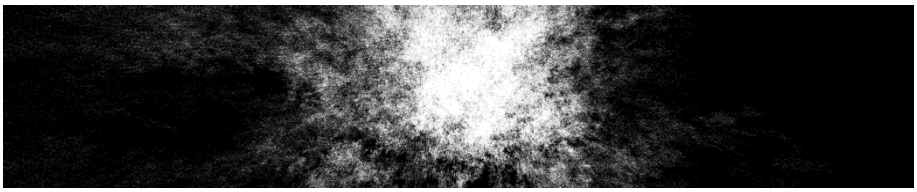


2 匹のキツネが 1 匹の蝶を追いかける何気ないひととき。偶然の出来事にふと現れる小さな発見から、これから何かが始まりそうな予感を描いた。



ビジュアルアーティスト／グラフィックデザイナー。広告・宣伝美術、アートワーク、ビジュアルデザイン、アニメーションや映像表現を軸に活動し、音楽シーンや企業向けの BtoB デザイン、大学研究機関と連携したビジュアル設計まで、オルタナティブな視点から幅広く手掛ける。グラフィック・映像・立体を行き来しながら新たな情緒価値を探り、近年は 3D プリンターによるフィギュア制作や VJ パフォーマンスにも注力している。

SO(4) [particles.1]　｜　堂園 翔矢　DOZONO Shoya



SO(4)は 4 次元ユークリッド空間における回転運動をテーマとした一連の作品群である。particles.1 は 4 次元空間を運動する粒子の軌跡を 3 次元空間に投影した映像作品。人間が知覚できない高次元空間での現象を可視化することを目指した。



1988 年生まれ。2014 年情報科学芸術大学院大学［IAMAS］修了。コンピュテーショナルな手法を用いた視覚芸術作品の制作、テキスタイルデザインを行なう。直近のプロジェクトに BAO BAO ISSEY MIYAKE とのコラボレーション「LAB. 01 BEYOND THE DIMENSIONS」（2026）、HOSOO との共同研究開発「Quasicrystal」（2020）「Ambient Weaving Ⅱ」（2023）など。プログラマーとして DUMB TYPE、梅田宏明らのプロジェクトに参加。アルスエレクトロニカ、文化庁メディア芸術祭などで受賞。

【本件に関するお問い合わせ】
文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業事務局［CG-ARTS 内］　担当：原
Email : creator-pr@cgarts.or.jp　Tel : 03-3535-3501　Fax : 03-4500-2279 ※受付時間：平日 10:00～17:00

文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業

出展作品・作家一覧

MorphFlux　｜　森田 崇文　MORITA Takafumi



MorphFlux は、磁性流体の形状と流れが相互に作用しながら絶えず変化するキネティック・インスタレーション。人が制御しようとする一方で、液体もまた自らの物理的性質に従い、ときに人の意図に導かれ、ときにそれに抗うように振る舞う。本作は、人間の制御とマテリアル自身の振る舞いが交差する場から生まれる動きを探求する。



1995 年愛知県一宮市生まれ。アーティスト、マテリアルインタラクション研究者。東京大学大学院情報学環助教を経て、現在はシカゴ大学コンピュータサイエンス研究科の博士研究員。博士（学際情報学）。姿を柔軟に変えられる液体のマテリアルとしての特徴に惹かれ、新たな液体表現の創出に没頭する。主な作品に、『see-saw』（Ars Electronica Festival 2022）、『MorphFlux』（ENCOUNTERS 2025）、『Entangled Liquidities』（Ars Electronica Festival 2025）など。経産省認定未踏スーパークリエータ。

風景の痕跡　｜　山中 千尋　YAMANAKA Chihiro



木々の間を歩いている。視線は絶えず動き、自然も変化し続ける。同じ瞬間が二度と訪れることはなく、風景は出現と消滅を繰り返している。アニメーションもまた、一瞬の一コマが出現し、過ぎ去っていく。それらの風景の痕跡は、私たちの記憶の中で、堆積と変動を続ける。



東京藝術大学大学院映像研究科映像メディア学専攻博士後期課程在籍。絵画的なアプローチと抽象表現を軸に、自然風景の知覚や記憶、身体感覚に着目し、アニメーションによる空間表現を探究している。アヌシー国際アニメーション映画祭やシュトゥットガルト国際アニメーション映画祭をはじめ、国内外の映画祭で上映・受賞歴を持つ。

【本件に関するお問い合わせ】
文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業事務局［CG-ARTS 内］　担当：原
Email : creator-pr@cgarts.or.jp　Tel : 03-3535-3501　Fax : 03-4500-2279 ※受付時間：平日 10:00～17:00

文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業とは

Project to Support
Emerging Media Arts Creators
文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業

本事業は、若手クリエイターの創作活動を支援することにより、次世代のメディア芸術分野を担うクリエイターの水準向上を図るとともに育成環境を整備します。また、メディア芸術分野における国内外のクリエイター同士の交流を推進し、交流機会を通じた国内クリエイターの育成を促し、その成果を国内外に広く発信することで、我が国メディア芸術水準の向上と発展に資することを目的としています。

「国内クリエイター創作支援プログラム」は、5 年以上の活動歴を有する、または、これまでに国内外で顕彰等の受賞歴がある概ね 40 代までのクリエイターを対象に、メディア芸術分野での新しい作品創作の企画を募り、専門家からのアドバイスや技術提供をはじめとした育成支援、他のクリエイターとの交流支援、成果発表の機会の提供や制作費など、選出された企画の具体化を様々な形で支援します。

「国内クリエイター発表支援プログラム」は、3 年以上の活動歴を有する概ね 40 代までのクリエイターを対象に、メディア芸術分野の作品の発表企画を募り、専門家からのアドバイスの機会の提供や、発表に係る経費など、国内外およびオンライン公開等での発表機会を支援します。

主　催：文化庁
事務局：CG-ARTS

事業ウェブサイト・各種 SNS

ウェブサイト
https://creators.j-mediaarts.bunka.go.jp

X　@MediaArts_C

Instagram　@mediaartscreators

Facebook
https://www.facebook.com/MediaArtsCreator

YouTube
https://www.youtube.com/@mediaartscreator



【本件に関するお問い合わせ】
文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業事務局［CG-ARTS 内］　担当：原
Email : creator-pr@cgarts.or.jp　Tel : 03-3535-3501　Fax : 03-4500-2279 ※受付時間：平日 10:00～17:00